

うららか YO-KO-ZE

広報

よこぜ

11月、紅葉の美しい季節です

11

2009
No.496



一致団結！人の「輪」心の「和」(町民体育祭10/4)

今月の内容

町のバランスシートと行政コスト計算書

.....②~③

ちちぶ定住自立圏形成協定を締結.....④

皆様のご意見を募集

(第5次横瀬町総合振興計画基本構想(案)).....⑥

平成22年度学童保育室入室申請の受付.....⑧

発行  横瀬町

〒368-0072 秩父郡横瀬町大字横瀬4545番地 TEL. 0494-25-0111(代) <http://www.town.yokoze.saitama.jp/>

と行政コスト計算書

状況にあるのかが見えてきます

バランスシート (平成21年3月31日現在 単位:千円)

バランスシートは、「貸借対照表」と呼ばれる財政状況を示す表のことで、一定の時点での資産や負債の状況を総括的に表すことができます。

バランスシートを見ることで、横瀬町がこれまでに蓄積してきた資産の状況(借方)や、今後どれだけの債務が必要になるのかといった資産の蓄積にかかる財源の状況(貸方)がわかります。

土地、建物など長い期間にわたって住民サービスに活用される資産

例) 役場庁舎
総合福祉センター
道路、小中学校校舎

投資および出資金、貸付金、基金など

例) 水道事業会計出資金
退職手当組合積立金
育英奨学資金
土地開発基金

容易に換金できる現金や預金、未納となっている税金等

例) 財政調整基金歳計現金
未収金

借方	
資産 (町が保有している資産の合計)	
●有形固定資産	9,235,557 (△196,906)
●投資等	889,713 (△16,522)
●流動資産	895,385 (230,180)
合計	11,020,655 (16,752)

()=対前年比

貸方

負債 (将来の返済必要額)	
●固定負債	3,072,571 (△287,002)
●流動負債	274,568 (13,080)
計	3,347,139 (△273,922)
正味資産 (支払済金額)	
●国庫支出金	691,853 (55,486)
●県支出金	1,078,856 (△90,143)
●一般財源等	5,902,807 (325,331)
計	7,673,516 (290,674)
合計	11,020,655 (16,752)

町が将来返済すべき債務で、長期にわたるもの

例) 地方債
退職給与引当金等

翌年度に返済しなければならない町債元金償還金

資産形成のためにすでに支払った金額で町債などとは違い、返済の義務はないもの

資産形成のために使用した一般財源等
例) 町税、地方交付税および用途が特定される使用料・手数料等

(歳入・歳出)

伴わないもの
減価償却費

資産形成につながるもの

負債

正味資産

資産

の増減額

[バランスシート]

るバランスシートへの利益の増減のにします。バランスシートと行政コストシートの期首から期末の1年間の変かにされるという関係にあります。

バランスシートの分析 [各指標] ()は平成19年度末の数値

- (1)社会資本形成の世代間負担割合 83.1%(78.3%)
有形固定資産のうち、正味資産による整備の割合。この割合が高いほど将来世代への負担が少ない。
- (2)歳入額対資産比率 3.7年(3.8年)
総資産形成のために、何年分の歳入額に相当するものかを示す。この年数が多いほど社会資本が充実している。
- (3)正味資産構成比率 69.6%(67.1%)
総資産のうち返済義務を負わない部分がどの程度あるかを示す。
- (4)流動比率 326.1%(254.4%)
短期の負債に対して、現金などの手元資金がどの程度あるかを示す。200%以上が理想とされている。
- (5)固定比率 120.4%(127.8%)
有形固定資産のうち返済義務を負わない資金の充当割合。

町のバランスシート

横瀬町の財政がどのような

行政コスト計算書 (平成20年度決算)

行政コスト計算書は、民間企業でいう「損益計算書」にあたります。

地方公共団体の仕事は、道路や建物のように将来も使うことができる、形として残るものだけでなく、福祉関係の扶助費や他団体への補助金など、人的サービスや給付サービスといった形として残らないサービスも大きなシェアを占めています。

行政コスト計算書を形成することで、これらのサービスの状況が明らかになります。

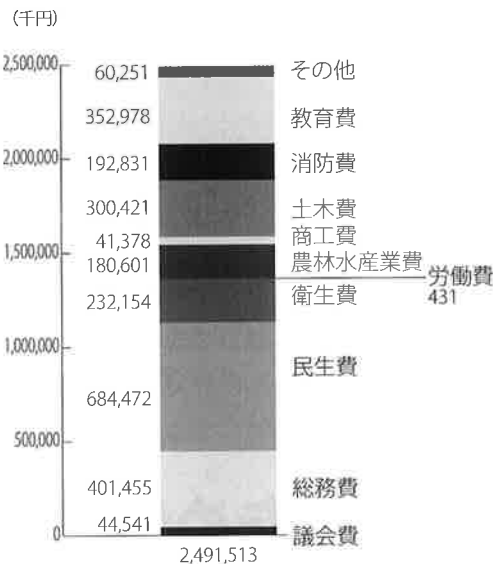
【住民一人当たりの行政コスト】



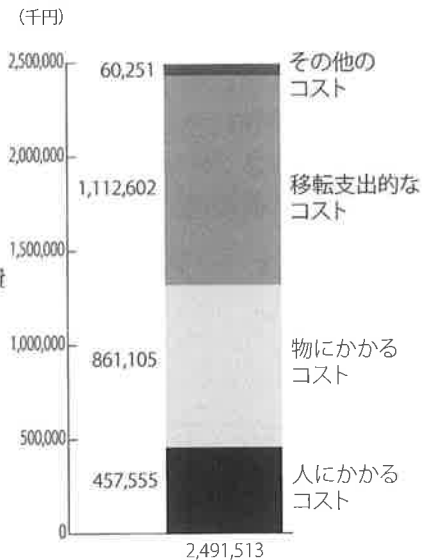
【住民一人当たりの収入項目】



行政コスト [目的別]



行政コスト [性質別]



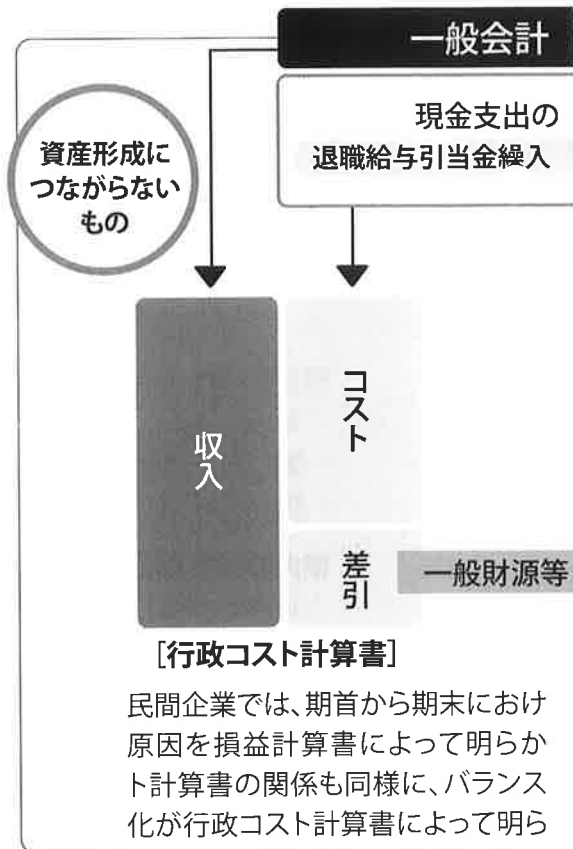
行政コスト (性質別) の内容

当該年度において、住民に提供した行政サービスに要する費用のうち、資産形成にかかる支出を除いた現金支出に減価償却費、不納欠損額、退職給与引当金繰入といった非現金支出を加えたもの。

- ①人にかかるコスト→行政サービスの担い手である職員に要する経費。人件費等。
- ②物にかかるコスト→町が最終消費者になっているもの。物件費、維持補修費、減価償却費。
- ③移転支的的なコスト→他の主体に移転して効果が出てくるようなもの。扶助費、補助費等、繰入金、普通建設事業費 (他団体への補助金等)。
- ④その他のコスト→上記に属さないもの。公債費等。

今月号の広報よこぜでは、バランスシート・行政コスト計算書の概要を掲載しました。

■ 詳しい内容については、ホームページ「うららか よこぜ」 <http://www.town.yokoze.saitama.jp/hou-1.htm> または、まち経営課窓口でご覧いただけます。



ちちぶ定住自立圏形成協定を締結

広報よこぜ9月号でお知らせした「定住自立圏構想」について、議会の議決を経て、秩父市と「ちちぶ定住自立圏形成協定」を締結しました。

横瀬町は、9月25日に秩父市と「ちちぶ定住自立圏形成協定」を締結しました。また同日、皆野町・長瀬町・小鹿野町もそれぞれほぼ同じ項目について秩父市と協定を締結しました。

今後は、中心市である秩父市と周辺の町が連携し、医療など暮らしに必要な諸機能を総体として強化するとともに、自立のための経済基盤の整備を進め、全体として魅力あふれる地域を目指します。

協定を締結した項目

(1)生活機能の強化に係る政策分野

救急医療体制の充実、リハビリテーション体制の確立

(2)結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

秩父圏域情報化の推進、地域情報共有システムの構築準備

秩父圏域における水道事業の運営の見直し

(3)圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

人材の育成等

秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町
ちちぶ定住自立圏形成協定調印式



今後、協定の締結に向け検討している項目

(1)生活機能の強化に係る政策分野

子育て支援の充実、観光・産学官の連携、自然環境の保全など

(2)結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

公共交通の連携、圏域外の住民との交流および移住促進

問 まち経営課 政策担当 ☎25-0112

「患者さんのための3つの宣言」 登録医療機関をご存じですか？

患者さんが納得し安心して医療を受けられるよう、埼玉県では埼玉県医師会と協同して「患者さんのための3つの宣言」を行う医療機関を登録し公表しています。

現在は、県内病院の約8割を含めた869の医療機関に登録してもらっています。

- 宣言内容**
- 1 患者さんへの十分な説明を行い、同意を得て医療を提供します。
 - 2 患者さん御自身の診療情報を開示します。
 - 3 セカンド・オピニオンに協力します。

登録医療機関は県ホームページからご覧になれます。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/A04/BF00/iryoannzen/sengen.html>

埼玉県庁ホームページトップ > 分野別情報「健康・福祉」> 保健・医療 > 病院 > 「患者さんのための3つの宣言」制度

県内の医療機関や薬局の情報を知りたいときは！

場所や診療科目・時間などの条件を入力すると、県内の約1万か所の医療機関や薬局を検索できる「埼玉県医療機能情報提供システム」をホームページで公開しています。ぜひご利用ください。

<http://www.iryo-kensaku.jp/saitama>

埼玉県庁ホームページトップ > 分野別情報「健康・福祉」> 病気または病院 > 医療機能情報提供システム(医療機関等が検索できます)

問 埼玉県医療整備課 ☎048-830-3541

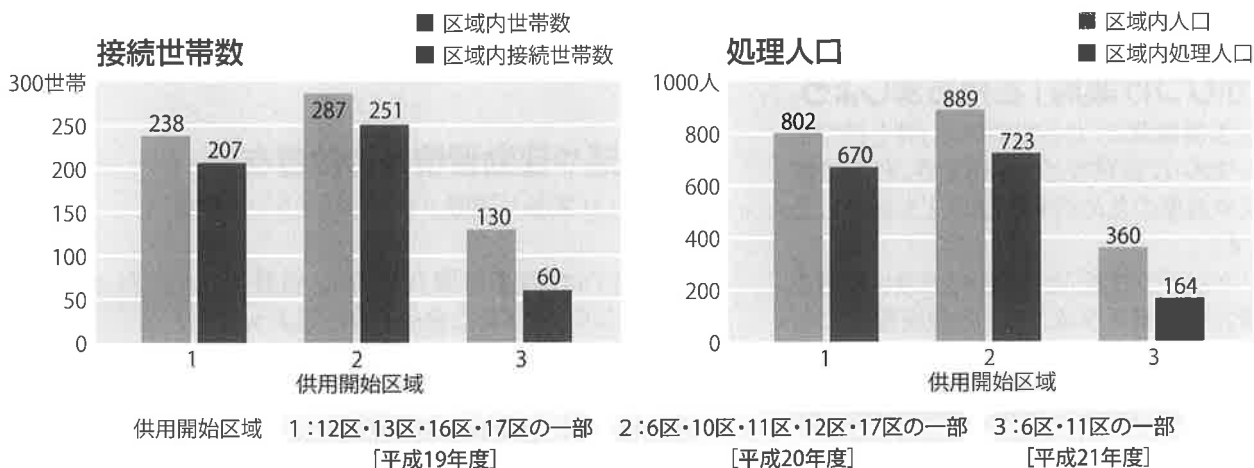
豊かな自然と快適な生活を守る 下水道のはなし

横瀬町では、平成19年4月から下水道が供用開始(下水道が使用できる状態)となり、順調に進捗しています。

今回は、現在供用開始となっている区域の接続状況をお知らせします。

なお、まだ下水道未接続の方は、環境の観点からも一刻も早い接続をお願いします。

平成21年9月末現在 横瀬町公共下水道接続状況



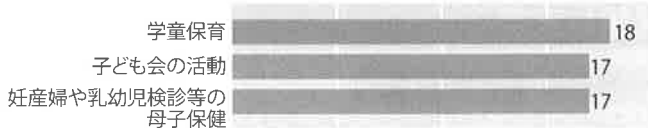
うららか YO・KO・ZE をめざして!

問 まち経営課 政策担当 ☎25-0112

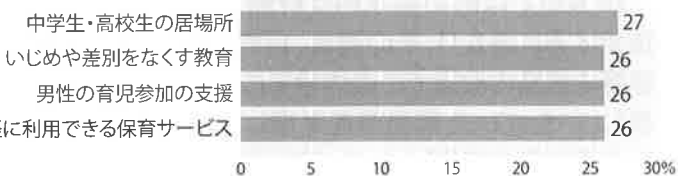
住民意識調査の結果報告 パート8

問 あなたは町の子育て支援対策や教育環境について、どの程度満足していますか。また、あなたにとってどのようなことが重要(力を入れるべきもの)であるとお考えですか。

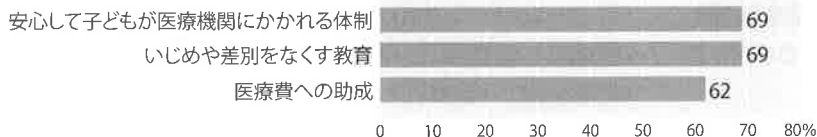
◆満足していること



◆不満なこと



◆重要なこと



子育て支援対策や教育環境で満足していることは、「学童保育」や「子ども会の活動」、「母子保健」が上位を占め、子育て支援関係が評価されました。一方、不満なことは、「中・高校生の居場所」や「いじめや差別をなくす教育」が上位となり、児童生徒に倫理観や規範意識などを教える必要性が伺えます。重要度については、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制」の回答がポイントが高く、医療体制の充実についての要望が高くなっています。